

# 希 望 の 丘

平成29年10月3日 文責 校長 田口浩幸

## 生き物の成長と環境

10月に入り、すっかり秋らしくなってきました。夏は過ぎてしまいましたが、夏の子供たちの楽しみの一つに昆虫採集があります。今年もカブトムシやクワガタを捕まえた話を子供たちから聞くことができました。その中でよく聞かれるのが、「ぼくのカブトムシ、小さいから餌をたくさんあげているけどちっとも大きくなりません。」という話です。

カブトムシは、幼虫時の生育状況で成虫の大きさが決まります。したがって、成虫になってから餌をたくさん与えても、今より大きくなることはありません。幼虫の時期に栄養豊富な腐葉土を食べて育ったカブトムシが、大きな幼虫となり、結果として大きな成虫となることができます。

一方、カブトムシと並んで子供たちに人気なのがノコギリクワガタです。ノコギリクワガタには、大きくあご（「角」と呼ばれることもあります）が発達したものです。が発達し、水牛の角みたいになっている立派なオス(上の写真)もいれば、同じオスなのに、あまり立派でないのも(下の写真)います。この違いも幼虫時代の育ち方の違いによるものです。



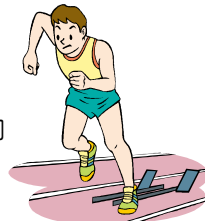
ところが、このノコギリクワガタは、カブトムシとは反対で、あまりよくない環境で育った個体のほうが立派なあごを持った成虫となります。カブトムシは1年しか幼虫の期間がありませんが、クワガタは2～3年幼虫の期間があります。餌が豊富な環境で育ったノコギリクワガタの幼虫は順調に育ちすぎて、あまり大きくならないうちに成虫になってしまいます。反対に、餌が十分でない環境で育った幼虫は、餌が少ない分、じっくりと時間をかけて成長するため、大きな成虫になれるそうです。

「かわいい子には旅をさせよ。」という言葉があります。子供たちが、立派な大人になるためには、子供にとって居心地のよい環境ばかりがよいとは限りません。

120名の生っ子は、今いろいろなことを吸収し成長しています。どのような環境を整えてあげることが必要なのか、私たち周りの大人が知恵を出し合い、育てていきたいものです。

## 小学校陸上競技大会(5日)

今日(木)、平戸市総合運動公園ライフカントリーで、平戸市小学校陸上競技大会が行われます。本校からも5、6年生42名が、それぞれの種目に参加します。本日4年生を中心とした激励式が行われ、下級生からの熱い応援を受けました。



また、今年も、濱田勝様に月曜日と金曜日の練習に来ていただき、子供たちを専門的な立場から指導していただきました。ありがとうございました。

自己記録の更新を目指し、しっかり頑張ってきてほしいものです。

## 9月の生っ子

実りの秋、地域の皆様(農協や漁協)のご協力ですべての子供たちは、この9月、生月の秋ならではのいろいろな経験をすることができました。

22日(金)には漁協のお世話で、3年生があご焼き体験とアジのさばき方を教えてもらいました。



また、26日(火)には5年生が、6月に植えた稲を脱穀しました。

焼きあごづくり 3年生

## 10月 主な行事

- 5日(木) 小学校陸上競技大会
- 7日(土) ツーデーウォーク(生月会場)
- 9日(月) 【祝日】 体育の日
- 12日(木) 2年生 町探検
- 17日(火) クラブ
- 19日(木) 生活科見学(1.2年生、ひばり学級)
- 23日(月) ミュージカルワークショップ
- 23日(月)～27日(金) へき地・離島教育実習(長生3名来校)
- 27日(金) 生月中合唱コンクール(6年生参加)
- 31日(火) 特別支援学級交流学習会(森きらら)

\*学校だよりはHPにも載せています。平戸市立生月小学校で検索してください。

生月小学校 HP→<http://www.city.hirado.nagasaki.jp/kurashi/school/ikitsuki/>